

第 46 回社会人野球日本選手権代表決定戦

対セガサミー戦 13 対 6 8 回コールド負け

投手陣自滅の四死球 7・被安打 13

四死球	3	0	0	1	0	0	0	0	4
安打	3	0	0	1	1	0	2	0	7
明治安田生命	4	0	0	1	0	0	1	0	6
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
セガサミー	0	4	0	0	0	2	6	1X	13
四死球	2	2	0	2	0	0	1	0	7
安打	0	3	0	2	1	2	3	3	13

明治安田生命 大久保 1・1/3・●石毛 4・2/3・新井 0・小林 0・2/3・小玉 0・1/3—森川・道端
 セガサミー 草海 4・横山 4 一須田
 本塁打 中川 (セガサミー6回2ラン)
 三塁打 森 (明治安田生命)
 二塁打 新城 (明治安田生命) 北川 2本(セガサミー) 須田(セガサミー)

投手名	投球回数	被安打	与四死球	失点	自責点	勝敗
大久保 匠	1・2/3	3	4	4	4	
石毛力斗	4・1/3	4	2	2	2	
森井徹平	0・1/3	1	1	4	3	●
新井悠太郎	0	0	1	0	0	
小林昌樹	0・2/3	2	0	2	3	
小玉和樹	0・1/3	3	0	1	1	
合計	7・1/3	13	8	13	13	

屈辱的な敗退コールド負けは最近ではあまり記憶にない。敗退チームスタッフ・選手諸君この敗退を日頃の練習の**一球一打肝に感じて励んでほしい。**

要因は2回裏の**2四死球**と3安打7回裏の**投手バンド処理と投手ゴロの2つのミス(エラー)**が今日の敗因の源。攻撃では**4・5回の併殺と7回のチャンスに2・3番が連続三振。**
 普通に戦っていたら勝てたゲームかと思いつながらパソコンの前でネット配信の一球速報でスコアに記載していた。

試合のゲーム内容は野球部発信の明和会ホームページに記載されております。

投手陣は投手有利のカウントで打者に向かって勝負してほしい。
チーム投手陣はボールから入り常に相手打者有利で戦っている

今年の公式戦は最大の都市対抗野球大会東京都二次予選。今日のゲームの敗戦は教訓として東京ドームに向かって誠心誠意汗して頑張ってもらいたい。

チームと明和会野球部ファンが東京ドーム一体となって戦いたい。

2021年6月3日
土田唯雄

第46回社会人野球日本大会

関東予選代表決定戦準決勝 JR 千葉戦 7対1で勝利

明日のセガサミー戦が代表決定戦

四球	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
安打	0	0	1	2	1	1	0	1	0	6
JR 千葉	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	1	1	1	2	1	1	X	7
安打	1	0	1	2	1	3	2	2		12
四球	1	0	1	0	0	0	1	0		3

位置	選手名	打数	安打	四球	打点
二	金子銀佑	3	0	0	0
二	新庄 拓	2	1	0	1
遊	高瀬雄大	0	0	2	0
代打	羽根龍二	1	0	0	0
遊	笠井皓介	1	1	0	1
右	泉澤涼太	5	2	0	1
指名	大野大樹	3	2	0	1
指名	小川 拓	0	0	2	0
一	福岡高輝	5	0	0	0
捕	道端俊輔	4	3	0	2
三	木田大貴	2	1	0	0
代三	伊藤智也	1	0	0	0
左	森 龍馬	4	0	0	1
左	大東孝輔	0	0	0	0
中	井村 滋	3	1	0	0
代中	永廣知紀	1	1	0	0
	合計	35	12	4	7

投手名	回数	安打	四球	失点	自責点
○竹田和真	6	5	3	1	1
高橋裕也	2	1	0	0	0
小玉和樹	1	0	0	0	0
	9	6	3	1	12

本塁打 道端俊輔 明治安田生命
二塁打 大野大樹 明治安田生命

先取点は泉澤選手の3回適時打。4回道端選手の本塁打で追加点。5回1点・6回2点7・8回1点と毎回得点で7対1と勝利。投手陣も先発竹田投手が6回5安打1失点・高橋投手2回1安打失点0締めくり小玉投手が9回三者凡退で締めくくる。6~8回は追加点のチャンスを繋ぐことが出来ず、残念繋ぐ攻撃を期待。

宿命的なライバルセガサミー、今代表決定戦をはじめ都市対抗野球大会東京都二次予選においても最大のライバルです。

2021年6月2日
土田唯雄